

高校1年E組（高校新入生）野外活動（2025.7.17～19）

上記の日程で、恒例の高校1年E組の野外活動が行われました。

中学から入った生徒諸君は2年の秋に野外活動を体験しますので、高校1年生では毎年、高校新入生のみ野外活動を実施して、自然に親しみ絆を深める機会を作っています。そのため彼らは他クラスより何日か早く一学期末試験を受け、他クラスが試験を受けている間に野外活動に出、学校に戻って終業式に臨み、夏休みを迎えます。

例年の行き先は霧島連峰が多いですが、今年は大隅半島にある、廃校になった小学校を活用した宿泊施設「ユクサおおすみ海の学校」で初めて野外活動を実施しました。

以下は引率教員が執筆し、高1の読書案内に掲載した文章です。

【7月17日 野外活動1日目】

高校1年E組夏の野外活動1日目。

「ユクサおおすみ海の学校」を舞台に開催するのは今年が初めてです。プログラムの1日目を「海で活動する日」、2日目を「山に登る日」としました。初日の夜と2日目の朝に薪を使って自分でご飯を作るスタイルは例年通り。

「ユクサおおすみ海の学校」は、その名の通り元々は小学校でした。海に面して建つかつての小学校が、宿泊を含め大隅半島を満喫できる素敵な施設に生まれ変わっています。

1日目は海を味わいました。「ユクサおおすみ海の学校」内にショップを構えるパドラーズさんをお願いをし、生徒向けのプログラムを作ってもらっての実施です。天気が心配でしたが、結果として青空と豪雨の両方体験できました。

ライフジャケットをつけて海に入ります。泳いだりカヤックに乗ったり、皆楽しそうな表情です。E組の生徒たちは4月の入学以来、この種の時間をあまり取れないまま駆けてきました。お互いに少しずつ打ち解けてくるこの時期に、皆で楽しむ時間を持てたことは、よかったのではないかと思います。

夕食は薪を燃やして各班でそれぞれのカレーライスを調理しました。苦戦した班もあったようですが、最終的にはどの班もおいしくカレーを食べられました。

【7月18日 野外活動2日目】

野外活動2日目。

山登りをする予定でしたが、朝から雨です。引率教員としては迷うところです。天気予報は「雨のピークは今」というし、それなら歩き始める頃には雨もあがるんじゃないか。野外活動の趣旨からすれば登りたい。しかし…

今回のコースには徒歩で川を横切る箇所が2ヶ所あります。雨で増水している可能性を考えると、安全最優先で中止と判断すべきでしょう。

生徒たちが朝ごはんの調理に取りかかってまもない午前7時、残念ですが「登山中止」と決めました。

雨天時コースとして用意・連絡しておいた鹿屋航空基地資料館に向かいます。ガイドの方もついてくれて、充実の展示内容でした。戦争末期に一ヶ月鹿屋に滞在した川端康成や、自身の部隊からは特攻隊を出さなかった美濃部正さんについても触れられています。京大から学徒出陣し出撃して帰らなかった特攻隊員の遺書など、特攻隊関係の展示も多いです。90分の設定でしたが生徒たちももう少し見たそうだったので、滞在を30分延長させてもらいました。

この間、外は豪雨。判断が正解だったとホッと胸をなでおろします。予定ではここから神川大滝公園に向かうつもりでしたが、道路が崩れて通行止めとのこと。

急遽JAXAの内之浦宇宙空間観測所に行き先を変更しました。JAXAさんもバス会社さんも柔軟に対応し

てくれてありがたかったです。「予定変更してJAXAに向かうよ」とバスの中で告げたら歓声とガッツポーズが上がって驚きました。

到着する頃には雨も上がり、巨大なパラボラアンテナが設置された丘の上の展望台で、ようやく集合写真を撮ります。資料館は解説に「読み応え」がありました。

締めくくりのキャンプファイヤーがとっても良かったです。キャンプファイヤーに対して私がこれまで持っていた固定観念ががらりと崩れました。「火をつけること」そのものをテーマに、砂浜でのキャンプファイヤー。ストライカーで麻ひもやティッシュに火花を飛ばして火をつけるのが最初の関門です。木をくべて火を育てる段階を経て、見事な焚火に歓声を上げるまで、皆夢中になって取り組んでいました。

波打ち際の焚火の跡は、撤収とほぼ同時に波にのまれてしまいました。残ったのは楽しい思い出です。



写真 左上 シーカヤックレスキュー体験
右上 バーベキューコンロで料理に挑戦
左下 JAXA内之浦宇宙空間観測所にて集合写真
右下 火おこしから始めるキャンプファイヤー